



▲中学生は部活もがんばっています

3月に入って、空の色、海の色、草花の色が少しずつ変化してきました。春色に染まりつつあるまちの景色が、新たな「風」と「であい」を予感させます。すべてのスタートに幸あれ。

◆3月1日、兵庫大学と「連携協定」を締結しました。これまでも地元の大学ということで、学生さんたちには大中遺跡まつりなどの実行委員や、先生方には町の審議会や計画策定の委員などでお世話になってまいりました。今回の協定を契機として、さらなる可能性に期待したいと思っています。若い感性をまちづくりに取り入れ、新たな分野での連携を進めることにより、地域活性化への力ともなれればと思っています。

◆2月28日に「総合教育会議」を開催しました。この会は町長が主催し教育委員さんと「播磨町の教育」について、その時々設定したテーマを話し合う場です。今回は「学力」と「部活」をテーマにしました。学校教育においては、子どもの健全育成は大切な目的ですが、保護者にとっては、子どもたちの「学力」もまた大きな関心事であると思います。子どもたちの一生を通じての財産ともなる「学力」をどう確かなものにしていくか。中学校の「部活」についても、それぞれ個々の向き合い方がある中で、統一した判断を下すのは難しいものがあります。「部活」が青少年期において果たしてきた役割りと歴史を尊重しながら、片や先生方の日常的な負担についても考慮する中で、播磨町教育委員会としての方向性を見出していきたいと思っています。現在「部活」においては、ノー部活デーを実施し負担軽減を図っています。また、子どもたちの学習環境改善のため、今年、中学校と幼稚園の全教室に「エアコン」を設置します。小学校は来年度の工事としています。「学力向上」にも効果があることを願って。

播磨町長 清水ひろ子

避難所運営訓練を実施しました

危機管理グループ ☎079 (435) 0991

2月24日、「播磨南小学校避難所運営マニュアル」の検証と、住民主体の避難所運営への理解促進を目的に、校区の6自主防災組織や自立支援協議会等関係団体より89人の方に参加いただきました。参加者は、朝9時頃に地震が発生したとの想定で、地震の揺れから身を守る行動を行った後、地域の一時避難場所である安否確認を行い、播磨南小学校グラウンドへ避難をしました。



その後、避難所の開設訓練、備蓄食料を使用した炊出し訓練、仮設トイレ設置訓練、要配慮者への対応訓練など、時間と共に発生する様々な課題への対応に関する訓練を行いました。

播磨町町制施行55周年記念 公民館まつり開催

中央公民館 ☎079 (437) 6980

3月2日から4日まで公民館まつりが開催されました。2日、3日は17サークルの作品が展示され、仏像彫刻、メキシカンフラワー、洋裁、押し花、編み物、書道、和裁の各教室は体験教室をしました。4日には20サークルが舞台発表を行い、第6回サークル文化賞には個人で井登慧さん(95歳。詩吟紫暁流)、団体でダンスサークルCOCOROが受賞されました。またロビーにおいて、作品のバザー・フリーマーケット、福祉バザーも行われました。和室においてもお茶席が設けられました。

今年も多くの人にご来場いただき、賑わいのある公民館まつりとなりました。



楽屋裏
3月3日、今春最初の桜の花を一輪みつけました。播磨大橋を新島に渡ってすぐの小さな緑地に、早咲きの河津桜が13本あり、早咲きの河津桜が13本あります。ソメイヨシノより濃いめのピンクで花期が長く、約1カ月咲くといわれています。この緑地に植栽してからまだ2年目の若木ですが、心配された海風にも負けず、すくすくと育っています。満開になるときは、写真に収めたいなと思っています。ですが、駐車場がない場所です。ポタリング(自転車での散歩)やウォーキングで行ってみようと思っています。(宮)

バードウォッチングを開催しました

すこやか環境グループ ☎079 (435) 2721

2月24日に喜瀬川やため池に飛来する野鳥の生態を学ぶバードウォッチングを開催しました。天候にも恵まれ、29種類の野鳥を観察できました。

毎年観察できているモズやシジュウカラをはじめ、カワセミやオオジュリンなど、なかなか見ることができない種類の野鳥も見受けられ、楽しい観察会となりました。播磨町は小さな町ですが、ため池や河川、農地などまだまだたくさんの自然環境が残っています。みなさんも双眼鏡と野鳥図鑑を持ってかわいい野鳥に会いに行ってみませんか。



※表紙の写真は、2月18日に催された新井大池ため池協議会の野鳥観察会。

▶問合せ 住民グループ ☎079 (435) 2364

山元町からの手紙

東日本大震災で被災し解体された役場庁舎の復旧が始まり、基礎工事が行われています。新庁舎は旧庁舎と同じ敷地内で、維持コストの軽減や来庁者への使いやすさを考慮し旧庁舎が3階建てに対し新庁舎は2階建てで敷地面積は1割ほどコンパクトになるとのことです。平成31年の春から新庁舎での業務開始予定なので、私はそこで仕事はできませんが、新庁舎の完成で復興がすすんでいることをより実感できるのではないのでしょうか。

藤原 洋介



※震災復興支援のため、播磨町職員が宮城県亶理郡山元町に派遣されています

トピックス

まちのわだい

播磨町ふるさと賞 飯牟田 空良君 (播磨中学校陸上競技部)

企画グループ ☎079 (435) 0356

播磨中学校3年生の飯牟田空良君の播磨町ふるさと賞贈呈式が行われました。

飯牟田君は、熊本県で開催された「第44回全日本中学校陸上競技選手権大会」の男子110m Hに出場し、第3位の成績をおさめられました。

小学3年生から陸上競技を始めた飯牟田君は、中学で果たせなかつた全国制覇を目指して、高校でも練習に励みたいと、抱負を語ってくれました。

町長からは、「2020年に開催される東京五輪を目指して頑張ってください」とエールを述べられ、記念の盾が贈られました。

※播磨町ふるさと賞は、スポーツ・文化の全国規模の大会で、めざましい活躍をし、町民に希望を与え、播磨町の名を広めた個人または団体に対し、その栄誉をたたえ贈るものです。平成8年度に創設し、飯牟田君で27人目となります。



わんぱく はりまっこ



7ヵ月
寺崎 恵菜ちゃん (西野添)

これからもすくすく元気に大きくなってね。(父、母より)